

La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro

センター通信 第313号

2024年8月22日発行

発行：名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro

461-0004 名古屋市東区葵一丁目26-10ユニブル新栄301号

公式サイト <http://nagoja-esperanto.a.la9.jp/>

Facebookページ <https://www.facebook.com/nagoja.esperanto>

郵便振替口座 00840-8-40765 「名古屋エスペラントセンター」



◀◀ 目次 ▶▶

愛知サマーセミナーに参加して（小川博仁）	2
中日新聞がセンターの紹介記事を（山口眞一）	4
オンライン作文教室の指導例から（山口眞一）	5
Mesaĝo de UEA okaze de la Tago de Esperanto	7
追悼 中山緑さん（伊藤俊彦）	10
関西エスペラント大会参加記（相原輝）	12
第1回臨時集会の報告（小川博仁）	13
寄付金お礼.....	14
今後の活動.....	15
活動日誌・編集後記.....	16

愛知サマーセミナーに参加して

小川 博仁

第35回愛知サマーセミナーが7月13～15日の三日間、名古屋市内の東海中学・高等学校を主会場として開催された。例年通り、名古屋エスペラントセンター（以下、センターと略す）もこれに参加し、小川博仁を講師として講座「国際語エスペラント」を7月15日の午後に開講した。受講者は中学・高校の生徒が8人、及び一般参加者が1人だった。センターからは4名がアシストした。

小川が講師をつとめるのは今年で3度目だ。パワーポイントのスライド「ようこそ魅惑の国際語エスペラントの世界へ」を用意した。今回は参考文献一覧表を省略したが、それでも例年よりスライドの実質の枚数は多くなった。戦前に名古屋放送局（=JOCK）がエスペラントのラヂヲ講座を日本で初めて放送したことや、名古屋で日本エスペラント大会（=JEK）が戦前に2回、戦後に3回開催されたことから説き起こし、Esperantoと云ふ語の意味、Zamenhofと『第一書』誕生の歴史的背景、よくある疑問・質問について前半部で解説した。後半ではエスペラントの特徴（中立性；生年月日—1887年7月26日—を有すること；学びやすく学習者に「やさしい」ことば）とその言語的な仕組み（例外のない規則的な発音・つづり字・アクセントや文法；英語や日本語などに由来する語彙の例をクイズ形式で紹介；豊かな造語力、ktp.）を概観した。その間に、“La Unua Libro”（ロシア語版）の複製本と、“Fundamento”、それに山川修一さんの『エスペラント現代用語集』を回覧して手に取って見てもらった。

小川のスライド解説のあとで、センターの山口真一がエスペラント運動やエスペラントの利用・活用方法を、ご自身のエスペランチスト同士の国際結婚の話も交えて説明した。

その後、受講生からの鋭い質問—エスペラントにはラテン語やロマンス語以外のゲルマン語やスラヴ語由来の語彙が多く含まれることをどう思ふか？—に回答した。

毎回思ふのだが、何といても講師が一番勉強させられる、ローマの諺：docendo discimus（ドケンドー・ディスキムス）「我々は教へることによつて学ぶ」を実感した一日だった。

[参考]

今年のサマセミは：

- ・講座数は979講座（去年は1,002講座）
- ・参加者は総数約70,000名（正式な数は集計中。去年は約44,294人）

【受講生徒の感想】（原文通り）

◎ 英語と似ていて、不規則動詞がないので、英語を知っていれば扱いやすい言語なのだと思います。また、いろいろな本が翻訳されていて、驚いたのと同時に、浸透している結果なのだと思います。（16歳・女）

◎ 名古屋とも繋がり強いエスペラントは英語等よりも規則的で学びやすい言語であることがわかった。色々な言語から名詞ができていて、面白かった。夏休みの学習時間があるときに詳しく見てみようと思った。（16歳・女）

◎ 前からエスペラントという名前だけは聞いたことがあったのですが、詳しくは知らなかったので、今回の講座で基本文法など、詳しいことも知ることはできてよかったです。ただ世界共通語であるだけでなく、言語での不平等の解消や世界平和を目指すなど、大きな意義を持つ言語だと感じました。この講座で少し興味が出たので、ネット上でも学べるということであつたので、夏、時間のあるときをねらって少し習得してみたくなりました。（16歳・男）

◎ エスペラントというのは世界の人々は平等に始められ、よいものだと思います。規則性がしっかりとあって、分かりやすい易しい言語であり、日本語が元になった単語あどもあって、興味深いです。派生語が多いので、造語がたくさんできそうです。（15歳・女）

◎ エスペラント語の歴史などについては、私自身以前より本やインターネットを通して何となく理解はしていましたが、実際に文法や語彙のへんさんの仕組みを学び、非常に興味深く楽しかったです。（15歳・男）

◎ エスペラントの説明について、よくある質問のところから導入があつて、疑問がしっかり解決していくような方式の講座で、頭に残りやすかったです。エスペラントは不規則性もなく、分かりやすく覚えやすく、話者もいるので、機会がある時に覚えて使えるようにしたいです。自分がエスペラントを習得し、国際語のすばらしさを伝えていきたいなと考えました。（15歳・男）

◎ エスペラントの語彙や、発音の規則、母音と子音の数の特徴がイタリア語に似ていることに驚いた。スライドで出てきたエスペラントの例文も四、五割は内容が理解できてしまった。ロマンス諸語を話す人々にとって、エスペラントのいかに簡単かが分かった気がする。まとまった時間がとれそうなら、1度勉強してみるのも良いと思った。（17歳・男）

◎ 自分はサクラとして参加しましたが、それでも新しい発見がありました。PIE（印欧祖語）をある程度知っているのので、より深く勉強できました。自分は、4年前からエスペラントを勉強していて、特にアジアの人と話していません。（30歳・男）

中日新聞がセンターの紹介記事を

7月26日（エスペラントの日）の中日新聞・愛知県民版に、名古屋エスペラントセンターの50年にわたる活動を伝える記事が掲載されました。

18日に、石川由佳理記者から取材があり、委員長の小川博仁、および永瀬義勝と私（山口）が対応しました。取材は1時間半以上にわたる詳細なもので、発足の目的や歴史、活動の現状や展望についてさまざまに質問がありました。

石川記者は、かつて東京外大在学時代にエスペラントを学んだことがあり、2018年の名古屋のザメンホフ祭を取材し、その様子が「中日こどもウィークリー」に掲載されています。

今回は地方欄とはいえ、当地では圧倒的な購読者をもつ中日新聞本紙にセンターがとりあげられたため、エスペラントの認知度をあげるのに貢献したのではないかと思います。その後、4件ほどの問い合わせが私の携帯電話にありました。（「かつて大学のE研で学んでいたが...」「Eの講習会を受講したい」「Eを学びたいが独習書を紹介してほしい」「センターの事務所でどんな資料があるのかを見たい」）

右上に、該当記事の切り抜きをコピーしましたが、著作権の関係で全文を公開することはできませんので、一部をぼかしてあります。中日新聞のWEB版でも読むことができます。会員登録（無料）をすると、全文を読むことができます。

<<https://www.chunichi.co.jp/article/933574?rct=aichi>>

（山口眞一）



オンライン作文講座の指導例から (1)

山口 眞一

昨年の8月から「オンライン作文講座」を開講しています。最初は1人だけの受講でしたが、現在は3人の受講があります。レベルは初中級、KER試験のB1程度、ということになっていますが、実際には受講生のレベルがさまざまですので、臨機応変にしています。

隔週の月曜日、夜8時から9時まで、Zoomを使用してのレッスンです。あらかじめ、10題の短文をE訳することを課しておいて、当日はその添削を画面上で見てもらいながら、指導をしていきます。作文というよりはE文和訳なのですが、案外中級以上の人でも間違えることが多いことに気づかされます。

実際のパソコン上の画面では、

- * スペルミス：アンダーライン
- * 文法のまちがい（語尾や時制など）：赤
- * 訳語の不適切：青
- * 構文のとりかたの不適切：取り消し線
- * 訳されていない箇所 { }
- * まちがいとは言い切れないが標準的ではない：オレンジ

というぐあいに、色や記号を使って添削しているのですが、このセンター通信の紙面では色は再現ができません。

が、実際にどのような間違いが多いのか、それをいくつかこれから紹介していこうと思います。（以下、記述を簡素化するため常体を使用）

(1) 単語

知らない単語だったら辞書を調べるだろう。しかし、多くの場合、訳語をみてそれを機械的にあてはめてしまったり、あるいはEと日本語を一对一の訳で覚え込んでいて、意味の対応関係にズレがあることが意識されていない。

例をあげると、「水」。多くの人は「水」＝「akvo」と覚えるが、ここに落とし穴がある。「水かお湯をください」の和訳では、ベテランでさえ、“Donu al mi akvon aŭ varman akvon!” としてしまうが、何がおかしいかわかりだろうか。

「水か熱い水をください」というのが不自然なのと同じで、Eの「akvo」は温度に関係なく、科学的にはH₂Oという物質のうちの液体をいうのであって、「水」＝「akvo」ではなく、「水」＜「akvo」である。あるいは「水」＋「湯」＝「akvo」でもいい。だから日本語を直訳しないで、“Donu al mi akvon!” とするのが正しい。もちろん、「水」「湯」を区別して訳す必要がある場合も当然ある。「この物質は水には溶けないがお湯には溶ける」。これを“Tiu ĉi materialo solviĝas ne en

akvo sed (solviĝas) en varma akvo.”とするのでは、やはり“akvo”とは何かを理解していないことになる。この場合は“malvarma akvo”“varma akvo”を使うことになる。これは訳語の不適切（青）の例である。

まちがいでないが標準的ではない（オレンジ）例。日本語（和語）では「はやい」といい、スピードが「速い」のか時間が「早い」のかを区別しないが、Eでは「rapida」と「frua」の区別があることは初心者でも分かる。では、「早く寝なさい!」を“Frue enlitiĝu!”としてよいか？たしかに、“Mi frue enlitiĝas ĉiutage.”とっておかしうはないし、話者の意図として「（明日は早く起きなくてはいけいないのだから、それにそなえて）早めに寝なさいよ」なら、上のように訳しても問題はないだろう。しかし、強めに（感嘆符付きで）いう場合は、意図として「ぐずぐずしていないですぐに寝なさい」ということだから、ここは「tuj」を使うべきだろう。このような簡単な例でも、案外日本語自体の解釈の不十分さからくるまちがいもある。

「水」のように具象的事物でさえ、その切り取り方（世界の分節化）のずれがあるのだから、抽象概念であればなおさら気をつけなくてはならない。「どこにも私には安住の地がない」。「安住の地」を「sekura loko (sekurejo)」としてよいだろうか。これは「安住」と「安全」と同じことだと見なしていることになるが、はたしてそうか。最近しばしば「安全・安心」という表現を見かける。ところが、実際には混同して使われることも多いとはいえ、「安全」と「安心」は別の概念である。これは対義語を考えてみれば分かる。「安全」の対義語は「危険」、「安心」の反対は「不安」である。前者は客観的な概念であり、後者は主観的な概念である。「この食物は安全だといわれているが、安心できない」ということがある。そこで、「安住の地」とは「安心して住める場所」だから、「trankvila loko」が適訳だ。しかし、「trankvila loko」というと、なんだか「静かで落ち着いた場所」「閑静な場所」をイメージする人が多いのではないか。これはE日辞書で「平静」という訳語を見て、その単語だけを一対一で覚え込んでしまうことからくる誤解だ。PIVには“havanta nenian zorgon, nenian timon ...”という説明がある。JEIのE日辞典ではそれを踏まえてきちんと説明があるのだが、大学書林の小辞典とか単語集、アプリのオンライン辞典ではどうしても不十分である。PIVは初学の段階から買っておくべきだと言いたい。

受講生募集

新規に受講を希望される方は、私宛にメール<syam-z@wa2.so-net.ne.jp>を送ってください。受講料は、センター会員は無料、非会員は一回あたり200円です。

Tago de Esperanto 2024: Por mondo por ĉiuj lingvoj kaj sen lingva diskriminacio

エスペラントの日 2024: 言語差別がなく、すべての言語が受け入れられる世界を目指して

La artikolo 2-a de la deklaro pri homaj rajtoj, klare asertas, ke "ĉiuj rajtoj kaj liberecoj difinitaj en tiu ĉi Deklaracio validas same por ĉiuj homoj, sen kia ajn diferencigo, ĉu laŭ raso, haŭtkoloro, sekso, lingvo, religio, politika aŭ alia opinio, nacia aŭ socia deveno, posedaĵoj, naskiĝo aŭ alia stato."

Tio en si mem klare kondamnas la neadon de lingvaj homaj rajtoj al popoloj, grupoj, etnoj, komunumoj malgrandaj, malfortaj, politike ne influaj, kaj pozitive asertas la bezonon batali kontraŭ lingva diskriminacio.

Kio estas lingva diskriminacio? Ĝi okazas ĉiufoje kiam homoj pli fortaj, pli potencaj, pli kleraj, pli riĉaj parolas en siaj gepatraj lingvoj al aliaj alilingvaj homoj, kiuj provu kompreni kaj provu respondi, se ili kapablas. Temas pri maljusta traktado de aliaj homoj, kiu estas same antikva kiel sklaveco, malalta taksado de virinoj, senpuna mortigo de malfortuloj, ekonomia ekspluatado de malfortaj landoj, rasismo, kaj similaj maljustaj praktikoj.

Sed estas unu diferenco kompare kun aliaj diskriminacioj: lingva diskriminacio estas ofte ne rekonata

人権宣言の第2条には、「この宣言で定義されたすべての権利と自由は、人種、肌の色、性、言語、宗教、政治的意見やその他の意見、国家的または社会的起源、経済的立場、出自、またはその他の立場に基づくかどうかにかかわらず、いかなる差別もなく、すべての人々に対して同じように有効である」と明確に述べられています。

これは、小規模で弱く政治的に影響力のない人々、集団、民族、コミュニティに対する言語的人権の否定を明確に非難し、言語的差別と闘う必要性を積極的に主張するものです。

言語的差別とは何でしょうか？このような差別は、より強く、より権力があり、より学識があつて、より裕福な人々が、自分の母語で、他の言語を話す人々に話し、可能であれば、彼らに理解させ、答えさせようとするときに、いつも起こっています。それは、奴隷制度と同じくらい古くからある他人への不公平な扱い、女性への低い評価、処罰されない弱者の殺害、弱い国の経済的搾取、人種差別、および同様の不当な行為に関するものです。

しかし、他の差別と比べると、1つ違いがあります：それは、言語的差別は、もっぱら差別する側だけが認識し

de tiuj, kiuj diskriminacias kaj eĉ de tiuj, kiuj estas diskriminaciataj.

Unuiĝintaj Nacioj mem, kiu estas la sola dialogo-punkto, pri kiu disponas nia planedo, ne plene aplikas tion, kion la deklaro pri homaj rajtoj implicis: ĉies egaleco kompreni kaj esti komprenata. Ĝi havas kelkajn grandajn lingvojn kiel oficialajn lingvojn, sed fakte ĝi utiligas nur kelkajn el la plej grandaj por paroli al la mondo. Sekve, ĝi emas aŭskulti nur tiun etan parton de la mondo, kiu kapablas respondi en tiuj plej grandaj lingvoj. Ĉu tio estas la plej efika maniero por mobilizi mondajn civitanojn por atingi solvon de monde gravaj problemoj, ekzemple la Celoj por Daŭripova Evoluigo, la dialogo pri la klimato aŭ la serĉo de paco?

Kelkaj gvidaj afrikaj politikistoj tute klare agnoskis la rilaton inter la uzo de gepatraj lingvoj kaj evoluo, kiel Julius Nyerere kaj Nelson Mandela, kiu iam diris: "Se vi parolas al homo en lingvo, kiun li komprenas, vi parolas al lia kapo, sed se vi parolas al li en lia lingvo, vi parolas al lia koro."

Kaj ni bezonas mobilizi la korojn ĉirkaŭ la celojn de Unuiĝintaj Nacioj.

La solvo, kiun proponas la parolantoj de la neŭtrala monda lingvo Esperanto estas eble tro estonteca por esti tuj aplikata grandskale, sed indas interesiĝi pri ĝi, ĉar ĝi estas lingvo kreita por ke en

te ĝi ne diskriminacias kaj eĉ de tiuj, kiuj estas diskriminaciataj.

地球上で唯一の対話の場である国連では、人権宣言が示唆したこと、すなわち、理解し、理解されるべきすべての人の平等を、完全には適用していません。そこでは、公用語として多数の主要言語がありますが、実際には、世界に向けて述べるのに、主要言語のうちの数個の言語だけしか使用していません。したがって、それらの主要言語で応答できる世界の一部分の人たちだけに耳を傾ける傾向にあります。これは、例えば、持続可能な開発の目標、気候に関する対話、平和の探求など、世界規模の重要な問題の解決策を達成するために世界市民を動かす最も効果的な方法なのでしょうか？

ジュリアス・ニエレレ氏やネルソン・マンデラ氏のように、アフリカの指導的な政治家の何人かは、母語の使用と発展との関係を、かなり明確に認めている人もおり、かつて次のように述べました：「もし、あなたが、相手が理解できる言語でその人に話しかけるならば、あなたはその人の心に語りかけることになるのです。」

そして私たちは、国際連合の目標に心を結集する必要があります。

中立的な世界言語であるエスペラント（語）の話者が提案した解決策は、おそらく、すぐに大規模に適用するには、あまりに未来的すぎるかもしれませんが、エスペラントに注目する価値はあります。なぜなら、エスペラント

la mondo ĉiu rajtu paroli sian lingvon ĉe si sen la premo de grandaj lingvoj. Esperanto estis kreita por ke ĉiuj lingvoj vivu, kaj por ke la dialogo inter malsamlingvaj grupoj okazu sen premo de unu al la alia sed en egaleca maniero, sen diskriminacio.

Ni ne alvokas, okaze de la ĉi-jara Tago de Esperanto, la 26-an de julio, ke vi lernu Esperanton simple por lerni plian lingvon, eĉ se ĝi estas relative facila, sed por kompreni kio estas lingva diskriminacio, kiu praktikas ĝin kaj kiel oni povas superi ĝin per egaleca komunikado.

は、世界中の誰もが権利を有するように作られた言語だからです。大言語の圧力を受けずに、自分で自分の言語を話せる権利を持てるように、エスペラントは、すべての言語が生きられるように、そして異なる言語のグループ間の対話が、互いに圧力かけることなく、差別なく平等に行われるように作られました。

私たちは、7月26日の今年のエスペラントの日に、たとえそれが比較的簡単であったとしても、単に別の言語を学ぶためにエスペラントを学ぶように呼びかけているのではなく、言語差別とは何なのか、誰が差別を行い、どのように対等なコミュニケーションを通じて、それを乗り越えられるのかを理解するために、エスペラントを学ぶように呼びかけています。



追悼 中山緑さん

伊藤 俊彦

7月31日に中山緑さんが亡くなった。8月1日に林和治さんから届いたメールでそのことを知らされ、愕然とした。最後に会ったのは昨年12月9日、東京で開かれたTEK（東京エスペラントクラブ）のザメンホフ祭である。そのときは元気そうだった。しかし、その頃から歩行が困難になり、ガンに侵されていることが判明して5月から入院治療を行っていた。その後も彼女とはMessengerでときどきやり取りをして、治療が辛いことは聞いていたが、まさかこんなに早く亡くなるとは予想もしなかった。享年73歳だった。

8月3日に東京都江東区亀戸の斎場で告別式が行われた。喪主は妹さんの西島尚子さん。エスペラント関係では、林和治、鈴木善彦、伊藤俊彦・順子が参列した。南山大学エスペラント研究会の先輩で、彼女の晩年のパートナーであった武山博さんともお会いした。告別式は無宗教で、中央に置かれた棺に緑さんが横たわっていた。棺の両側に並べられた椅子に参列者が座り、大学時代の同窓生、元同僚、林氏、武山氏、喪主がこもごも立ってスピーチした。林氏は、2019年にラハティ（フィンランド）で開かれた世界エスペラント大会の開会式で彼女が日本を代表して行ったあいさつを披露し、その声が会場に流れた。

彼女は1951年6月7日東京生まれ。1970年に南山大学に入学し、エスペラント研究会に所属した。当時は東海ロンド・ハルモニアという組織が各大学の研究会を横断的につないでいた。愛知県内でエスペラント研究会があるか、エスペランチストがいた大学は、愛知大学、金城学院大学、名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、南山大学などである。当時はみな若くて活気があり、やれ合宿だ、大会だ、大学祭だ、ブリガードだ、コンパだと理由をつけては群れていたことを思い出す。名大エスペラント研究会の部室には隣接する南山大学から毎日のように彼女たちが訪れて、たむろしていた。もともと、学生たちの大多数は大学卒業とともに、そうした「サークル活動」としてのエスペラント活動からも卒業したのだが。

彼女は、1974年に大学卒業後、東京へ戻り、目黒区役所、新宿区役所に勤務した。都庁エスペラント会、新宿エスペラント会、深川エスペラント会の活動に参加したと聞いているが、詳細は承知していない。J E I（日本エスペラント協会）では選挙管理委員、評議員を務めた。世界大会にも何度か参加した。エスペラント運動への参加、エスペランチストとの交流は彼女の人生を豊かなものにしたと思う。また、長らく名古屋エスペラントセンターの会員でもあり、センターの活動を支えてくれた。2020年の日本エスペラント大会を始めとして、名古屋での大会等にも何度か来てくれた。

最後に、私事になるが、彼女との関わりについて少し。私は1971年に大学に入学

し、名古屋大学エスぺラント研究会に加入して、初めて彼女と出会った。以来、半世紀以上の付き合いになる。当時、私は18歳、彼女は19歳であり、東京出身の才気煥発で愛らしい年上の女性は、田舎育ちの男子学生にとってはまぶしい存在だった。卒業してからも、東京に出張した折や、日本大会などでしばしば会った。彼女は海外旅行、国内旅行を好み、オペラや演劇、映画にもしばしば足を運び、読書家でもあった。卒業後は互いにさまざまな人生の経験を重ねたが、会えば学生時代に帰って、旅行のこと、読んだ本や見た映画のことなど話に花が咲いたことを思い出す。

彼女の人生は完結し、もはやそれに一分一秒たりとも加えることはできない。おしゃべりしているときの彼女の生气にあふれていかにも楽しそうな表情も、もはや見ることはできない。緑さんのいない現実を受け入れなければならないが、それには長い時間がかかるだろう。



⇐1972年4月28～30日、東海ロンド・ハルモニーアの新歓合宿で。全忠寺ユースホテル（知多郡美浜町）。右から3人目が中山さん。

2018年10月12～14日 第105回日本エスぺラント大会（第2回日韓共同開催大会）の夜。奈良市のレストランで。⇒



関西エスペラント大会参加記

相原 輝

関西エスペラント大会には、午前中は私用で参加できませんでしたが、その後の検定試験、懇親会、翌日の勉強会と講演会に参加しました。

検定試験はCEFR (KER) のA2レベル*1に相当する3級の試験を受けました。単語と文法の問題がそれぞれ10問ずつあり、エスペラント訳と和訳の問題が2つありました。どれも日常のことや社会問題を題材にしたもので、それがゆえに回答しやすかったです。

会話のほうは、単語不足で聞き取りにくいところもありましたが、なんとか受け答えができました。ヨーロッパ的な単語や言い回し(ekz: inter-urba trajno)を使ったりして、逆に通じないこともありました。

総合的には、ギリギリで合格しましたが、前置詞や自動詞・他動詞の区別、関係詞の使い方など復習が必要とコメントがついてしまいました。

その後の懇談会は、カナダからの留学生といろいろ話して打ち解けあいました。フランス語だけでなく、ラテン語も分かるというのは驚きでした。一方で期待していたのですが、飲み放題ではなくどちらかというとお食事会という感じでした。

次の日は、文法の勉強会に参加しました。内容は再帰構文に関するもので、あまり日本語にはない表現で、印欧語をいくつか知っていても、少し慣れなかったです。

*1 日本語能力検定のN4, 英検準2級に相当

2024年秋のエスペラント学力検定試験

日時：2024年11月23日（土・祝）14:00～16:00

会場：エスペラント会館（日本エスペラント協会）

実施級：1級・2級・3級・4級

（2級・3級同時、3級・4級同時も可）

受検料：1500円から6000円（級によって異なる）

詳しくは<<https://www.jei.or.jp/20241123-jei-ekzamen/>>



第1回臨時集会の報告

小川 博仁

8月4日にZoomで開催された「第1回臨時集会：センター存続の危機 財政問題に関する話し合い」のご報告をいたします。

参加者は11名（伊藤順子・伊藤俊彦・今井田健二・小川博仁・河野敏宏・後藤美和子・永瀬義勝・平石奈保美・別府良孝・山口眞一・湯浅典久）でした。

以下は、敬称を略し、集会後のメール・電話等での追加意見を加えたものです。

- ・オンライン集会に参加できない会員で、意見のある人はメールして欲しいと呼びかけたが、反応がなかった。（小川）
- ・財政状況の報告。（A・B・C）会員の半数が1ランクアップしたとしても、年額6万円の増加にしかない試算だ。（湯浅）
- ・会費の値上げと、郊外への移転を考えてはどうか。（河野）
- ・新栄町は好立地で、センターは文化力であり、貴重な遺産だ。役員は少しでも新会員を増やすべき。仙台の今泉氏や九州大会でも、センターの図書機能に興味を持つ人がいた。名称変更も一つの手だ（東海Eセンター / 中部Eセンター）。（永瀬）
- ・精神論では解決しない。清算するにせよ、それなりの費用がかかる。財政がこれ以上逼迫してからでは、寄付も望めない。（山口）
- ・名称変更は以前にも議論したことがあるが、却下された。（山口）
- ・全国的な広報活動が必要だ。クラウドファンディングも検討してはどうか。そのためにも、今のセンターは使い勝手が悪い。本の注文があっても、在庫を探せない事もあるし、片付けても片付けてもゴミを出す人がいる。（山口）
- ・ゴミ問題や事務所に尿の臭いが充満しているのは、引越以前の問題だ。不潔なところでは新しいことは始まらない。（伊藤順）
- ・販売図書の在庫がお荷物になっている。現在は半額セールをしているが、古本ばかりだし、ゆくゆくは図書販売を廃止したい。図書館機能もJEI理事の川良氏が全国のE図書館の連絡網をつくったが、その後の進展がない。八ヶ岳E館も本の整理が問題になっている。（伊藤俊）
- ・横浜のE博物館は土居夫妻の後は維持できるのか？（伊藤俊） NECで余った本を横浜に送っても、もう保管する場所がないようだった。（伊藤順） 横浜には本当にダブリ本を送ったのか？ 今まで何箱送ったか？（山口） ちょっと覚えがない。（永瀬） 八ヶ岳もこれ以上の本の収容は出来ない（伊藤順） 「よこはま博物館」が引受可能か、確認する必要がある。（山口）

[編者注] よこはまエスペラント博物館に確認してみました。「今までに名古屋エスペラントセンターからダブリ本を送られた事実はないと認識している。余った本を送っていただくことは差し支えない（ダンボール数箱程度であれば）。」という回答がありました。

- ・ 個人・故人からの寄贈図書はこれ以上引き受けないことにしている。（小川）
- ・ 外部との連絡にせよ、引越するにせよ、多大なエネルギーが必要だし、誰が担当するかも問題だ。（伊藤俊）
- ・ 山梨の桜井さんや工藤さんの図書館・図書室に余った図書を送る手もある。（伊藤順）アフリカのEistojが図書を欲しがっているので、本を送ってはどうか。（平石） 途上国にダブリ本を寄贈する手もある。船便ならば安くつく（伊藤俊）
- ・ 本・紙類を減らすことで、ひと回りかふた回り小さな事務所でもOKとなるかもしれない。都心で、便利で、明るくて、エアコンもWi-Fiもあって、人を招きやすい事務所（兼資料庫）が、今のと同じくらいの家賃で叶うかもしれない。今の物件はどうやって探したのか？（後藤） 資料の保管と会議室としての機能があれば良い。（山口） 物件は「オフィス」で検索してみても。（小川） 古い民家を探すと良いかもしれない。（河野）
- ・ 今のセンターは窓がなく（注：本当は小さな窓が1つだけある）て閉塞感があり、行きづらい。郊外に移転して、本を見たりE会話を楽しみたい。（平石）
- ・ 今の新栄町という都心の場所が良い（田舎に引越すと、各自の交通費が増える）。そのためには、財政面でサポートしたい（5年間で300万円の寄付が可能）。次回は、一回の発言時間を5分以内に制限願いたい。（別府）

寄付金お礼

2021年以来、下記の方々より高額のご寄付をいただいています。ここにあらためてお礼を申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2021年2月	米川五郎様	50,000円
2022年9月	米川五郎様	40,000円
2023年3月	森田明様	160,000円
2023年7月	森明人様	20,000円
2024年1月	河野敏宏様	50,000円
2024年1月	B.Y.様	80,000円
2024年7月	B.Y.様	450,000円
2024年8月	森田明様	150,000円
2024年8月	竹崎陸子基金	400,000円

今後の活動

❖ 第3回日韓共同エスぺラント大会

- ・日時：2024年10月4日（金）、5日（土）、6日（日）
- ・会場：大韓民国・全州教育大学校（全北特別自治道 全州市）
- ・主催：日本エスぺラント協会・韓国エスぺラント協会
- ・大会テーマ：“Nova tendenco de kulturaj mondoj en Japanio kaj Koreio
（日本と韓国における文化の新しい動向）

8月6日現在の登録参加者は211人。日本からの参加は63人。名古屋エスぺラントセンターからは7人です。

❖ ワールドコラボフェスタ

- ・日時：10月26日（土）、27日（日）10:00から17:00
（エスぺラントセンターは26日に出席します）

- ・場所：オアシス21銀河の広場

「ワールドコラボフェスタ」は、愛知国際交流協会やJICA中部、名古屋国際交流団体協議会が主催する国際交流のためのイベントで、地域の国際交流団体などがブース出展するほか、ステージイベントもあります。センター委員以外にも協力者を募集しています。資材の運搬や、来訪者への説明案内をしていただきます。

❖ 入門講座

- ・日時： 毎週火曜日 19時から20時半（第1回は11月12日で全20回）
- ・場所： 名古屋エスぺラントセンター事務所
- ・教材： ドリル式エスぺラント入門
- ・受講費： 10,000円（教材費含む）
- ・申込み： 名古屋エスぺラントセンター <syam-z@wa2.so-net.ne.jp>

❖ ザメンホフ祭

日時、場所、内容は未定です。アイデアをおよせください。

センターの会員（維持員）募集中

A:月500円 / B:月1,000円 / C:月2,000円 / D:月3,000円

ランクによる会員資格に差はありません。ランク別及び振込月数を明記して郵便振込（口座番号は表紙タイトル下）へお願いします。メールアドレスがあれば、それもあわせてご記入ください。

活動日誌（5月から7月）

- 5/1（水）19時から20時 NEC50年史年表検討会（オンライン）
5/6（月）20時から21時 オンライン作文教室
5/8（水）19時から20時 事務所整頓作業
5/11（土）13時から14時 会話を楽しむランチ会
5/16（木）19時から20時半 センター委員会（オンライン）
5/17（金）17時半から19時半 中級学習会
5/20（月）20時から21時 オンライン作文教室
5/21（火）15時から16時 自由会話（オンライン）
5/21（火）16時から18時 読書会（オンライン）
5/29（水）19時から20時 NEC50年史年表検討会（オンライン）
6/3（月）20時から21時 オンライン作文教室
6/5（水）19時から20時 事務所整頓作業
6/11（火）19時から20時半 センター委員会（オンライン）
6/14（金）19時から20時 NEC50年史年表検討会（オンライン）
6/17（月）20時から21時 オンライン作文教室
6/18（火）15時から16時 自由会話（オンライン）
6/18（火）16時から18時 読書会（オンライン）
7/1（月）20時から21時 オンライン作文教室
7/3（水）19時から20時 事務所整頓作業
7/10（水）19時から20時半 センター委員会（オンライン）
7/15（月）13時から14時半 愛知サマーセミナーE講座（東海中学・高校）
7/16（火）15時から16時 自由会話（オンライン）
7/16（火）16時から18時 読書会（オンライン）
7/20（土）12時から13時 会話を楽しむランチ会（ジート[ウクライナ料理店]）
7/22（月）20時から21時 オンライン作文教室

▶編集後記

○13頁「センター存続の危機・財政問題に関する話し合い」の報告ですが、第2回以後は、センター外の人々にも公開された会として開催を予定しています。

○今年の世界エスぺラント大会はタンザニアで開催されましたが、残念ながらセンター会員で実参加者はいなかったようです。来年はチェコ第二の都市ブルノだそうです。プラハからは列車で2時間半、ウィーンからは1時間半くらいの距離です。そして第11回アジア=オセアニアエスぺラント大会は来年9月岡山で。（山口）